収第 208 号
8.2.10
庄内町議会

「町民と語る会」報告書

開催日時	令和7年12月22日	午後4時00分 ～ 午後7時00分
団体等名	庄内たがわ農協役員	
開催場所	立川生活総合センター2階ホール	
出席議員	吉宮茂、小野一晴、上野幸美、奥山康宏、加藤將展、伊藤和美、石川武利	
	齋藤秀紀、石川保	
参加人数	11人　海藤喜久男　代表理事組合長他	
主な「質疑」「意見」「要望」「提言」など	1　庄内町の地域振興（営農課関連の状況や課題）について (1)　籾共同乾燥貯蔵施設 この施設（ＣＥ）については導入から40年程度経過しており、大きな修繕が必要になっている。導入時の計画面積を下回る施設の利用組合については損益悪化が目立ってきており、取り扱い品種の集約による利用面積の拡大など収支の健全化が必要となっている。 （議員）　ＣＥの老朽化に補助金はないと思っているが国・県の感触はどうか。 （農協）　以前から要望はしている。昨年、農協の全国大会で江藤大臣が老朽化した共同利用施設の再編を支援する事業を新設したと報告している。 （議員）　農政運動としてこれからも継続してもらいたい。 （農協）　地元大臣を通じて要望していきたい。 (2)　作物作付け 米価の高騰により主食用米や水田活用米穀（加工用米等）の作付拡大志向が強くなっている。一方、大豆については作付面積の縮小傾向が続いており、同品目の経営基盤（機械化体系等）を維持するため作付面積の再拡大或いは現状維持につながる施策が求められる。 （議員）　立川地域では大豆の作付けが3分の1まで減っていることでコンバインの国の補助や刈り取り料金の値上げ等課題が多い。また、このことは、農協の共同乾燥施設にも影響すると思われるがどうか。 （農協）　中々作付けが伸びなく頭を痛めている。産地交付金を考えてはいるものの米の高騰部分が大きいので難しい。 （議員）　共同施設の利用料を少し勉強していただくと大豆作付けの説得材料になると思うがどうか。 （議員）　産地交付金を調整できなければ先細りしてしまうが情報はないか。 （農協）　再生協議会で去年もこの話題は出たが大きく変わらなかった。令和8年産については今後検討が行われるのでより良い方策になるよう頑張りたい。 (3)　担い手不足 担い手への農地集約により経営規模の拡大傾向が続いているが、地	

「町民と語る会」報告書（2号様式）

	域を担う人数の減少から共同草刈り作業など地域保全に従事する作業員の確保に苦慮する集落が散見されている。 （議員）　立谷沢地区も担い手不足の集落で苦労しているが今後についてはどうか。 （農協）　担い手や離農者をどうしていくのか。いろいろな意見を吸い上げ、今後の対策を考えていきたい。 （議員）　離農や大規模化による農業者の減少は地域の減退につながると思う。また草刈り等人手不足で地域は苦労しているがどうか。 （農協）　草刈り等は多面的や中山間で取り組んでいただきたい。また立谷沢地区まちづくりで広域的に進めていると思っている。 （議員）　立谷沢地区では絶対数が足りないのではないか。 （農協）　温海地区での例で行けば温海保全組合で法人を立ち上げ展開している。ただし、中心になって動いてくれる人がいないとうまくいかないことはある。 (4)　鳥獣被害 立川地域立谷沢地区を中心にイノシシの被害が拡大しており、農産物への被害及び畦畔損壊等が発生している。 また、クマについては人的被害も発生しており、農産物被害にとどまらないリスクを抱える重大な獣害となっている。 （議員）　令和 8 年度農業関連予算要望の鳥獣害対策に要望調査結果 9 人とあるが内容はどうか。 （農協）　2 件はハクビジンによる食害、7 件はイノシシによる圃場破壊、獣臭による収穫断念である。 （議員）　集落は何処になるか。 （農協）　立谷沢地区になる。 （議員）　電気柵について効果はいろいろ言われていますが今後も呼び掛けるべきと思うがどうか。 （農協）　畦畔の被害には電気柵が効果をあげていると聞いている。声掛けは必要と思っている。 （2 号様式に続く）

庄内町議会議長　殿

令和 8 年 1 月 15 日

庄内町議会「町民と語る会」実施要領の規定により提出します。

令和 7 年度町民と語る会

班長　加藤　將展

書記　齋藤　秀紀